



新春の庁舎を飾って18年

～ 市役所玄関前に大門松 ～

このほど池田市役所玄関前に巨大門松が設置され、来庁者や道行く人々は、足を止めて勇壮な姿を眺めていた。門松は来年1月10日（土）まで飾られる。

市北部の細河地区は日本の四大植木生産地（稲沢＝愛知県稲沢市、安行＝埼玉県川口市、久留米＝福岡県久留米市）の一つとして知られている。この大門松は、一般社団法人・池田市造園業組合（代表理事・東本幸昌＝ひがしもと・ゆきまさ＝、Tel06・6300・7927）が「植木・造園のまち池田」にふさわしい大門松を、と市役所前に飾りつけ市に寄贈したもの。今年で18年目。

同組合代表理事の東本幸昌さんは「この大門松は細河産のこだわり素材を用い、熟練の職人の手によって、丁寧に組み上げられたものです。訪れる方々に新年の希望と活力を感じていただくとともに、池田市の植木の魅力を広く知っていただきたい。」と話していた。

大門松について

大門松は高さが約3メートル、幅と奥行きが90センチで左右一対（2体）。材料は竹をはじめ松、ナンテン、梅、ハボタン、クマザサなどで、ほとんど細河産を使っている。それらの材料で9人の組合員が約2時間かけて完成させた。土台の部分は複数の木板を組み合わせた木枠にし、竹を束ねて土を入れる。竹のまわりに松や梅、ナンテンなどをバランスよく植えていき、本体をつくる。土台の中に土を足しながらハボタン、クマザサなどを飾りつければ豪華な大門松が完成。組合員は慣れた手つきで要領よく飾りつけた。



問い合わせ 総務部総務課 Tel072・754・6220